

Advance

#流されず、自分で選ぶこと

今週の道徳では、「情報モラル」をテーマに授業を行いました。きっかけは、隣の6年生の学級で実際に起きた出来事です。ネット上のある動画のリンクが拡散され、それを目にした多くの子どもや保護者が嫌な気持ちになるということがありました。この出来事を「自分たちには関係ないこと」として流すのではなく、「自分たちにも起こり得ること」として受け止め、どう行動すべきか考える大切な機会にしたいと考え、7年生にも早急に授業を設けました。

まずは、文科省の動画「その情報広めて大丈夫？SNS拡散編」を視聴しました。視聴後、子どもたちから「端末を取り上げてもらえばよい」「預けておけば安心できる」というような意見が出ました。たしかに、道具を手元からなくせば一時的には問題は起きません。スキー合宿でのデジタルデトックスを思い出し、「あのときはみんなでトランプして楽しかったよね」という声もありました。

しかし話し合いを重ねるうちに、「それでは根本的な解決にはならないのでは」という気づきが広がっていきました。「端末がなくても、気持ちは残るし、別の方法でまた同じことが起こるかもしれないよね」「大事なのは、自分の心にブレーキをかけられるかどうかだと思う」といった意見も出てきました。

その過程では、「頭ではダメだと分かっているけど、そのときの気分でやってしまうこともある」「学級の雰囲気、自分も流されそうになったことがあるかなー」といった誰もが抱える弱さや葛藤も率直に語られていました。

【試験運用】[聴くClassNewsletterはこちら](#)

最後には、自分なりの「マイルール」を考えました。「見たくないものは見ない」「送られてきても広めない」「その場で判断できなかったら時間を置く」など、子どもたち自身が真剣に向き合っている様子が伺えました。

授業の締めくくりには、2つの確認をしました。

1. 自分で決めた「マイルール」を大切にすること
つまり、観るか観ないか、送るか送らないかは自分の責任であること
2. もし困ったときは一人で抱え込まず、保護者や先生など信頼できる大人に必ず相談すること

SOLANでは「自立し、自律した学習者」を育てることを目指しています。情報との関わり方も同じで、自分の気持ちや行動をコントロールできる力を身につけてほしいと考えています。

その理念のもと、保護者の皆さまからご協力いただき、MacBookにスクリーンタイムを設定していただいています。子どもたちの自立し、自律していく姿を信じながらも、やはり今はまだ責任は家庭と学校、私たち大人にあります。引き続きしっかりと見守っていきたいと思います。

今回、子どもたちが、心の葛藤を正直に語り合い、仲間と一緒にルールをつくっていく姿に、大きな成長を感じました。ぜひ、ご家庭でも「どんなルールを考えたの？」と聞いていただければと思います。きっと子どもたちなりの言葉で、学びを伝えてくれるはずです。

これからも家庭と学校が手を取り合い、子どもたちが安心して学び続けられる環境を一緒に築いていければと願っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

We will value "Purpose" and "Ownership" for you

Advance

国数英 学カテスト



- # 理社 単元テスト
- # 理科PBL 地学探究
- # 火山の噴火モデル
- # 噴火する地層ケーキ



We will value "Purpose" and "Ownership" for you